ほほえみ

（NO414）
特別養護老人ホーム
筑波キングス・ガーデン
0297(24)5139

手をとりあって

風に触れる

施設長　小川内秀樹

キングスガーデンの周辺、フレッシュな緑色からアースカラーに生長中の麦の穂。肌に触れると気持ちの良い五月の風が、穂の波を作り出し、燕がウエーブの上を波乗りする。これから訪れる青い夏海の白波上をカモメが飛ぶ姿のようだ。鳥が風に乗るさまは、自然界の息吹を感ずる情景だ。

向かい風。そんな中を走る時、全身に負荷を感じ、速度は遅くなり、エネルギー消費も大きくなり、疲労も早い段階で感じるようになる。前進しにくくなればなるほど、フィジカルに頼る事から、心が折れないように、意思やマインドに寄りかかるようになる。順風とは違い、逆風に身をさらすとは、自然界そのものと自分が向き合う事でもある。

追い風は、自分の実力以上の走力を生み出す。タイムが上がる。軽快となる。希望が見えるようになる。

しかし、避けたくなるような向かい風と対峙しながら進む時に、より筋力は鍛えられ、より心肺機能は高められる機会となる。決して楽なものではないが、地力の素となる。それゆえ、逆境に向き合いながら過ごすことが与えられたら、大いなる何かが私たちを鍛錬し、それが、希望に繋がっていることと思えるようになれたらと思う。風が毎日、吹いている。

感染対策に明け暮れた昨年度を乗り越え、経験したことには、大きな意味が必ずあり、ここからの日々が、逆風の後の追い風に乗るものであるよう願う。

霞ケ浦の帆曳き船
（土浦市）

五月のボランティア

協力牧師の方々（日曜礼拝）※現在、感染対策の為、ボランティア様の受け入れを中止しています。

野菜を作ろう

虹の架け橋ヘルパー　櫛田裕恵

気温も上がり、草木も青々としてきました。植物を育てるのにいい季節になりました。各ユニットにて、ご利用者の皆様の楽しみとして、野菜作りを計画しています。

現在、憩いの汀ではかわいい「イチゴ」がご利用者の皆さんの目を楽しませています。さらに夏に向け、「トマト」を育てる予定です。虹の架け橋では「枝豆」と「ジャガイモ」を植えました。冬に好評だった「ジャガイモ」は、今からご利用者の皆さんの、楽しみになっています。

収穫の風景

※収穫のご様子です。

創立記念日

特養ヘルパー主任　野田望

四月十日は、特別養護老人ホームの創立記念日。当日は、管理栄養士と厨房のスタッフが、豪華な食事を真心込めて作りました。

彩りも良く、ちらし寿司風のおにぎり、天ぷら、煮物、デザートと、何を食べるか、迷ってしまいます。皆様、夢中で召し上がっていました。

豪華絢爛！

どれも美味しい！

選挙に行こう

虹の架け橋　櫛田裕恵

四月二十三日は、常総市市議会議員選挙の、不在者投票をする為、市の担当者の方が来て下さいました。数人のご利用者の方が、大事な一票を、投票用紙に記入し、投票箱に自ら投じていました。

【編集後記】

日差しが強くなり、緑も濃くなってきました。暑くなってきましたので熱中症に気を付けて下さい。

ほほえみ担当　片見・櫛田

相談員日誌

「慎重に」

宮本　隆幸

新年度を迎え、早いもので五月に入りました。桜も散り、緑が多くなり、至る所で鯉のぼりを目にする季節です。世間では、新型コロナ、五類へと変わり、コロナウイルス対策に対し、段々と軽減が図られてきております。当施設では引き続いて、感染対策を継続している状況にあり、事前予約制で十五分の面会、マスク着用、消毒といった基本的な感染対策を行っております。新型コロナ、五類感染症移行はしているものの、感染者数は全国的に見て現状一名でもいる事と、感染後重度化している方も数名おり、油断は出来ない。この苦しい時期を乗り越えるにはもう少しの様な気がします。今後の高齢者施設のコロナ対策緩和に期待がかかります。

温かい日や寒い日等気温の変化が激しい時期です。身体に気を付けてお過ごし下さい。面会のご連絡をいつでもお待ちしております。

2023年５月号　特別養護老人ホーム筑波キングス・ガーデン ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.kings-garden.or.jp

ぬくもり

中島とめ様の紹介

中島芳子様（次男妻様）

祖母は、大正十年７人兄弟の末っ子として生まれ、当時食料難真っ只中、おいしいものをいただいていたそうです。体も大きく、学校では、大女とばかにされていたそうです。

実家も瓦業だったもので、縁あって瓦業の家に嫁いだそうです。当時は土瓦製造でしたので、職人・奉公人を雇っていたので、主婦として、子育て、農業、瓦製造、食の世話と働き者の肝っ玉かあさんだったと聞いています。

趣味も多彩、自転車も器用に乗り病院にも自力で通院していました。

九十歳の時、大きな交通事故、二年目には、心筋梗塞と大病も克服しました。事故の時、脳挫傷という後遺症があり、だんだん認知症が始まり、デイサービスでお世話になり、現在は、特養で手厚い介護のお陰で、毎日を過ごしています。七月には百二歳になります。

主は私を緑の牧場に伏させ、
いこいの水のほとりに伴われます。
詩篇二三編二節

ホームページ

お楽しみケーキ

虹の架け橋ヘルパー　片見拓真

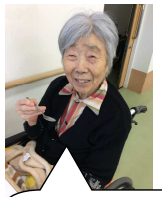
四月二十日、午後の水分の時間に厨房より、お楽しみケーキが提供され、ご利用者の皆さんの目を楽しませ、味にも満足されていました。「美味しいね。」「おかわりある？」など、ケーキを嬉しそうに、ほおばる姿に、ヘルパーも笑顔になってしまいます。

次回は、どんなデザートが出るか、皆さん、楽しみにしていてくださいね。

甘いもの
大好きなのよ

チーズケーキとミルクティー

お茶もケーキも
楽しめました



お菓子を作った頃
懐かしいわ～

五月の誕生者

【五月】
二日　ジャスミン理美容サービス
四日・十一日・十八日・二十五日　カスミ移動販売
七日・十四日・二十一日・二十八日　日曜礼拝
十二日　母の日
十九日　運動会
二十一日　大生屋販売
二十五日、　防災訓練
【六月】
一日・八日・十五日・二十二日・二十九日　ジャスミン理美容サービス
四日・十一日・十八日・二十五日　カスミ移動販売
九日　日曜礼拝
十五日　軽食イベント
十八日　父の日
二十七日　大生屋販売
防災訓練

礒　譽志夫様　八十八歳
草野さだ子様　七十九歳
逆井いつ様　九十三歳
佐々木好子様　九十三歳
塚原静子様　八十一歳

お誕生日おめでとうございます。

コロナウイルス緩和の中で

理事長兼総合施設長　宇都宮和子

5月に入り、国の方針はコロナウイルス緩和の方向に変わり、毎日、テレビニュースは連休の車混雑状況報告の日々。つくば市から常総市に毎日通勤している私にとって、5月の連休勤務は車も少なく、幸せな時間です。藤や薄紫の桐の花が咲き、道の両脇には植えたばかりの小さな苗が風に揺れ、運転しているこちらまで嬉しくなります。農家の方にとって連休は1番忙しい時、私も子供の頃、父と一緒に田植えをした事が懐かしく思い出されました。ご利用者さんにも田植えの状況を話すと嬉しそうに話がはずみます。

施設のコロナ対策は直ぐには変わりませんが、法人全体も落ち着き、高齢者施設、障がい者施設も、それぞれ新年度の事業計画の中に、ご利用者さんの笑顔あふれる企画が盛り込まれています。5月は運動会。まだ、合同行事は無理ですが、各施設の企画が実行できる事を祈るばかりです。又6月からご家族の面会も緩和され、ご利用者さんの笑顔も多くなることを祈っています。これからもご家族の皆様のご協力宜しくお願い致します。

喜ぶものといっしょに喜び、泣く者といっしょに泣きなさい。
（ローマ一二：一五）